



暗闇のキャンパスに描かれた光の芸術 今年もたくさんのホタルが舞いました



6月6日(月)

西庄内町の「ほたるの里」で、今年もたくさんのホタルが舞い、観賞者の目を楽しませました。

ほたるの里は、自然とふれ合い、自然の大切



さを思い出す機会を作ろうと、地元の自治会が中心となって9年前から、生息地の保全や観賞環境の整備を行ってきました。こうした地道な活動の結果、今では市内外から多くの観賞者が訪れる有数の「ホタル観賞スポット」となっています。

今年も、恒例行事となった「ほたるまつり」は、残念ながら雨により催し物の内容が変更となりましたが、ホタルは6月に入って順調に飛び始め、6月中旬には乱舞もピークを迎えました。

観賞者は、目の前を飛び交う無数のホタルが放つ幻想的な光の美しさに、目も心も奪われたように、いつまでも静かに見入っていました。

西庄内町「ほたるの里」ホームページ

<http://www.suzukahotaru.com/>

スパイク!レシーブ!バレーボール元日本代表が指導



6月17日(金)

バレーボール元日本代表で、Vリーグ「東レ・アローズ」の主将として活躍した綱島久子さんを講師に迎え、庄野小学校で5・6年生を対象に、バレーボール教室が開催されました。

教室では、スポーツの楽しさについての講話やバレーボールの実技指導が行われました。綱島さんは、準備体操や実際にボールを使った基本練習を通じて、

バレーボールの楽しさやコツを伝えていました。

子どもたちは、綱島さんの指導に熱心に聞き入り、現役時代を思わせる力強いスパイクに歓声を上げていました。

